

美術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開隆堂	美術
38	光村	美術
116	日本文	美術

2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標と導入の文章の記載の仕方及び目標の具体例
		② 作品の理解を深めるための工夫	基礎的な技法や知識などに関する記載
		③ 日本の美術文化に関する内容	題材名及び掲載作品
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	学習内容の表示の仕方及びマーク等の活用の具体例
		⑤ 生活や社会とのかかわりを考えさせるための工夫	生活や社会とのかかわりのある作品例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材等の配列	題材等の数及び構成や配列
		⑦ 掲載している作品の数	サイズを明記している作品の数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 折り込みページの活用及び大型図版の掲載	折り込みページの内容及び大型図版の作品
(オ)	言語活動の充実	⑨ 言語を用いた発想・構想の工夫	言語活動の示し方及び具体例
		⑩ 作者の言葉の記述	作者の言葉の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	題材の目標と導入の文章の記載の仕方及び目標の具体例

	記載の仕方	具体例（第1学年）
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の横に、「関心・意欲・態度の目標」、「発想・構想の目標」、「創造的な技能の目標」、「鑑賞の目標」の4観点で色分けして目標を示している。 ○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。 	題材名：「心ひかれる風景」 <ul style="list-style-type: none"> ・風景画のよさや美しさに関心をもとう。 ・風景のよさや美しさをスケッチなどを通して見つけよう。 ・色彩や構図を工夫し、季節や時間を表現しよう。 ・作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しよう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の横に目標を示し、学習後に達成状況をチェックする欄を設けている。 ○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。 	題材名：「心安らぐ わたしの場所」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場所を探してみよう。 ・全体と部分のバランスを意識して構想を練ろう。 ・鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描こう。 ・作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取ろう。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の横に、「発想・構想に関する学びのねらい」、「創造的な技能に関する学びのねらい」、「鑑賞することに関する学びのねらい」の3観点で色分けして目標を示している。 ○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。 	題材名：「自然の表情」 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の表情から感じ取ったことをもとに、表現の構想を練ろう。 ・表現意図に合わせて、形や色、材料などを工夫して表そう。 ・自然の表情をもとにした作品から、作者の思いや表現の工夫を感じ取ろう。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②作品の理解を深めるための工夫
方法	基礎的な技法や知識などに関する記載

学年	基礎的な技法や知識などに関する記載			
開隆堂	1	「Let's try!」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆名人への道 <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん暗くなっていく雲の変化を、鉛筆を使って描こう ・パラパラ漫画に挑戦しよう。動きを工夫してつくり、友達と見せ合おう ・友情や団結をテーマにした学級旗を、アイデアスケッチを使ってみんなで考えよう ○ 紙細工達人への道 <ul style="list-style-type: none"> ・チョッキンパツ ・ハッピーカード ・両面パズル 	「道具箱」 <ul style="list-style-type: none"> ○ パレットの使い方 <ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具は ・アクリル絵の具は ○ 筆や筆洗 ○ 彫刻刀の種類と使い方 ○ カッターナイフや小刀 ○ 電動糸のこぎり 	「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 色彩の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・色の三要素（三属性） ・色相 ・明度 ・彩度 ・補色 ・無彩色 ○ 混色 <ul style="list-style-type: none"> ・加法混色 ・減法混色 ○ 色の対比 ○ 色の感じ ○ 色水で色相環をつくらう
	2・3	「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵の具の話 ○ 日本の伝統色 ○ 襲の色目 ○ 美しい日本の色 		

光 村	1	「平面に関する技法と用具」 ○ 鉛筆で描く ○ 色鉛筆を重ねて描く ○ クレヨンと水彩絵の具を組み合わせで描く ○ 塗ったクレヨンをひっかいて描く ○ パステルで描く ○ 水彩絵の具で描く ○ レタリング ○ アクリル絵の具で描く ○ マスキング	「立体に関する技法と用具」 ○ 紙でつくる ○ 粘土クローキーで人物をつくる ○ 粘土の表面を加工する ○ 焼き物の用具と技法 ○ 彫刻刀で彫る ○ やすりで削り、磨く ○ 塗って仕上げる	「形・色・材料・光の特徴を知ろう」 ○ 日本の伝統色 ○ 朝の光と夕方の光の違い ○ 美術作品と照明 ○ 混色 ○ 対比 ○ 色の仕組みを知ろう ○ 有彩色に無彩色を混ぜてできる色 ○ 補色 ○ 色から受ける感じ ○ 形から受ける印象 ○ 木 土 竹 紙		
	2・3 上	「平面に関する技法と用具」 ○ 点で描く ○ スパッタリング ○ マーブリング ○ コピー機を使って写し取る ○ コラグラフ ○ ステンシル	「立体に関する技法と用具」 ○ 針金を曲げる ○ 動くようにつなげる ○ 木と木をつなげる ○ 紙でパッケージをつくる ○ カッターナイフで曲線に切る ○ 木の板を切る ○ 金属を切る	「形・色・材料・光の特徴を知ろう」 ○ 日本の伝統色 ○ 照明による雰囲気の違い ○ 光と影の伝統芸能 ○ 色による錯視 ○ 色による残像効果 ○ 見やすい色の組み合わせ ○ 色の同化 ○ 色の仕組みを知ろう ○ 有彩色に無彩色を混ぜてできる色 ○ 補色 ○ 色から受ける感じ		
	2・3 下	「平面に関する技法と用具」 ○ 水墨画を描く ○ 単色木版画	「立体に関する技法と用具」 ○ 廃材でつくる ○ 木を削り出す ○ 金属板でつくる	「映像メディアに関する技法と用具」 ○ カメラで写真を撮る ○ ビデオカメラで映像を撮る	「形・色・材料・光の特徴を知ろう」 ○ 形の冒険 ○ 金属 ガラス 石 その他	
日 文	1	「色を学ぶ 色の性質 日本の色づかい」 ○ 色の三要素（三属性） ○ 三原色 ○ 無彩色と有彩色 ○ 絵の具の混色と重色 ○ 色の対比 ○ 色の感じ ○ 絵本に学ぶ色彩 ○ 玩具に見る色彩 ○ 四季の移り変わりと彩り ○ 作品に見る伝統的な日本の色 ○ 日本の伝統色		「いろいろな技法を用いて」 ○ ドリッピング ○ コラージュ（はり絵） ○ デカルコマニー（合わせ絵） ○ ストリング（糸引き絵） ○ スパッタリング（ブラシぼかし） ○ マーブリング（墨流し）		
	2・3 上	「写真撮影の第一歩」 ○ デジタルカメラ：各部の名称と機能 ○ 撮影時の姿勢 ○ デジタルカメラの撮影の工夫	「木工の技法」 ○ 切る（のこぎりで） ○ 彫る（彫刻刀で） ○ 削る（やすりで） ○ 削る（小刀で）	「水墨画の技法」 ○ 墨の濃淡の調節 ○ 筆の使い方（運筆法） ○ 没骨法 ○ 破墨法 ○ 積墨法		
	2・3 下	「金属でつくる」 ○ 切る ○ 打ち出す ○ 曲げる ○ 接合する ○ いろいろな技法による作品				

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③日本の美術文化に関する内容
方法	題材名及び掲載作品

	題材名	掲載作品（第2・3学年） ※生徒作品を除く。
開隆堂	伝統の美に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素描・ザクロ【田中一村】 ○ 群鶏図【伊藤若冲】 ○ 唐獅子図屏風【狩野永徳】 ○ 紅型衣装「黄色地松皮菱菊藤菊流水菖蒲文様紅型木綿袴衣装」[沖縄県] ○ 蛭狩り【鈴木春信】
	伝統と改革・日本画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仔鹿【徳岡神泉】 ○ 斑猫【竹内栖鳳】 ○ 栖鳳の写生帳 ○ 序の舞【上村松園】 ○ 落葉（左隻）【菱田春草】 ○ 雪の日【米谷清和】
	物語を描く	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伴大納言絵巻 上巻（部分） ○ 鳥獣人物戯画 甲巻（部分）
	江戸のデザインセンス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 群鹿蒔絵筥【本阿弥光悦】 ○ 八橋蒔絵螺鈿硯箱【尾形光琳】 ○ 白綾地秋草模様小袖（尾形光琳筆） ○ 色絵藤透鉢【尾形乾山】 ○ 雛形祇園林（中嶋丹次郎他筆） ○ 風神雷神図屏風【俵屋宗達】 ○ 燕子花図屏風【尾形光琳】 ○ 夏秋草図屏風【酒井抱一】 ○ 鹿・楓図団扇【酒井抱一】
光村	季節感のある装飾を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 桜花文様蒔絵籠甲櫛 ○ 江戸風鈴 ○ 當麻寺中之坊書院 ○ 季節の和菓子 ○ 和菓子の絵図帳
	浮世絵から学ぶ江戸の職人技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏【葛飾北斎】
	絵巻物を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥獣人物戯画 甲巻（部分） ○ 鳥獣人物戯画 乙巻（部分） ○ 石山寺縁起絵巻 第二巻（部分） ○ 伴大納言絵巻 中巻（部分）
日文	日本の美意識	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箸の装飾 ○ 琉球漆器の食器 ○ 和紙を使った空間演出【堀木エリ子】 ○ 四季花鳥図屏風【狩野元信】 ○ 黒楽茶碗 銘 俊寛【長次郎】 ○ 妙喜庵の茶室待庵【千利休】
	墨が生み出す豊かな世界	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋冬山水図・冬景図【雪舟等楊】 ○ 山市晴嵐図 瀟湘八景図断簡【玉潤】 ○ 春宵花影図【松林桂月】 ○ 指月布袋画賛【仙厓義梵】
	世界を魅了したきらめき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色絵月梅図茶壺【野々村仁清】 ○ 風神雷神図屏風【俵屋宗達】 ○ 楓図壁貼付【長谷川等伯】 ○ 八橋蒔絵螺鈿硯箱【尾形光琳】

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	学習内容の表示の仕方及びマーク等の活用の具体例

	表示の仕方	マーク等の活用の具体例
開隆堂	○ 題材の分野・内容をページ左端の色帯で表している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の振り返りを示すマーク ○ 基礎的な技法や知識などを示すマーク ○ 題材に関連する情報などを示すマーク ○ 「鑑賞のきっかけとなる問いかけなど」を示すマーク ○ 国宝を示すマーク ○ 重要文化財を示すマーク ○ 題材間で関連する学習内容を相互に示すアイコン
光村	○ 題材の分野・内容をページ左上に赤・青・緑のインデックスで表している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材で身に付けさせたい力（目標）を示すマーク ○ その作品を作った人の言葉を示すマーク ○ 作品をつくる際の安全についての注意事項を示しているマーク ○ 形・色・材料・光などのことや、それらがもたらすイメージについて考えるための問いかけを示すマーク ○ その作品が日本の国宝に指定されていることを示すマーク ○ 道徳の学習と関連する内容を示しているマーク ○ 発想を広げたり構想を練ったりする際のヒントを示すマーク ○ 学習を深める内容を示すマーク ○ 学習と関連する技法や用具の使い方が載っている，巻末の資料ページを示すマーク
日文	○ テーマごとにページ左上にインデックスで表している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現や鑑賞のポイントを意識させることを示すマーク ○ 著作権や安全についての注意事項を示すマーク ○ 題材間で関連する学習内容を示すマーク

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤生活や社会とのかかわりを考えさせるための工夫
方法	生活や社会とのかかわりのある作品例

作品例 (第1学年)			
	絵や彫刻	デザインや工芸	鑑賞
開隆堂	(作家の作品) 「森の仲間たちより うさぎ」【藪内佐斗司】 森の中を走るうさぎを連続的に表した作品	(作家の作品) 「KOTORI」【山田佳一朗】 生活を快適にするデザインによる作品	「私の Web 美術館」 生徒が、これまで美術で学習したことをまとめたホームページ
	(生徒作品) 「裏庭の老木」 日頃、生活している身近な風景を描いた作品	(生徒作品) 「部屋のドアプレート」 自分の部屋のドアを飾るための作品	
光村	(作家の作品) 「柘榴」【高村光太郎】 身近な果物であるざくろを表現した木彫作品	(作家の作品) 「飛び出すカード (花束)」 【ロバート・サブダ, マシュー・ラインハート】 受け取る相手の気持ちを考えた誕生日カード	「なまはげ」 アジアに暮らす人々が伝えてきた多くの伝統芸能の一つとしての秋田県のなまはげの衣装
	(生徒作品) 「身の回りのもののスケッチ」 身の回りにある草木や靴, 風景を水彩で表現した作品	(生徒作品) 「ケーキセットトレイ」 作成後、自分で活用することを目的とした木の作品	
日文	(作家の作品) 「水の星座」【新宮晋】 風をテーマにし、自然の中に配置した彫刻作品	(作家の作品) 「泳ぐ文字の粋族館」【福田繁雄】 日頃使っている漢字と魚の形を用いて構成したデザイン作品	「金魚鉢・すだれ・うちわ・うちわ立て」 季節や場面に合わせて古くから伝わってきた日用品
	(生徒作品) 「竹」 身の回りの自然や生活の中から感じ取った季節感を表した作品	(生徒作品) 「ユニバーサルデザインのレポート」 いろいろな立場の人が利用しやすいデザインを探し、まとめたレポート	

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥題材等の配列
方法	題材等の数及び構成や配列

	学年	題材等の数	構成や配列				配列の仕方
			項目別の題材等の数				
			A表現 (1)	A表現 (2)	A表現 (3)	B鑑賞 (1)	
開隆堂	1	18	8	4	14	4	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「絵画・彫刻の分野」 「デザイン・工芸の分野」 「ガイダンスや資料」
	2・3	33	15	10	24	9	
光村	1	21	8	6	15	6	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「はじめに」 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「学習を支える資料」
	2・3上	20	7	6	14	6	
	2・3下	20	7	6	15	5	
日文	1	21	10	8	16	5	○ 題材をテーマ別で配列している。 「みる・感じる・つくる」 「生きる豊かさ・伝え合う楽しさ」 「世界の広がり・歴史の奥行き」 ※学年によりテーマが異なっている。
	2・3上	20	7	11	17	3	
	2・3下	22	13	8	19	3	

※1つの題材で複数の項目を示している題材もある。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦掲載している作品の数
方法	サイズを明記している作品の数

	学年	サイズを明記している作品の数	計
開隆堂	1	146	355
	2・3	209	
光村	1	122	327
	2・3上	98	
	2・3下	107	
日文	1	162	411
	2・3上	126	
	2・3下	123	

視点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載
方法	折り込みページの内容及び大型図版の作品

	学年	折り込みページの内容	大型図版の作品
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ガイドンス」 ・ 図工から美術へ ・ 表現の始まり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富嶽三十六景 尾州不二見原【葛飾北斎】 ○ イカロスの墜落のある風景【ピーテル・ブリューゲル(父)】 ○ 一本の木【小野竹喬】
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ガイドンス」 ・ 教科書美術館へようこそ ○ 平和、命、つながり ○ 物語を描く ○ 「資料ページ」 ・ 美術の流れ ・ 色彩ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紅白梅図屏風【尾形光琳】 ○ バルセロナの眺望【リチャード・エステス】 ○ 壁画 ○ 我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか【ポール・ゴーギャン】 ○ 仔鹿【徳岡神泉】 ○ 呂洞賓図【雪村】 ○ ガーデニング(マンハッタン)【大岩オスカー】 ○ 伴大納言絵巻 上巻(部分) ○ 鳥獣人物戯画 甲巻(部分)
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はじめに」 ・ 感じたことを話し合おう ・ 美術ってなんだろう？ ○ 「特別展示室」 ・ 風神雷神, 自然と人と ○ 「学習を支える資料」 ・ 形・色・材料・光の特徴を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旅する人々【マルク・シャガール】 ○ ヴェトウイユのモネの庭【クロード・モネ】 ○ 新鮮野菜の盛り合わせ(生徒作品) ○ 風神・雷神像 ○ 「風神雷神図屏風」【俵屋宗達】 ○ 飛び出すカード(花束)【ロバート・サブダ, マシュー・ラインハート】
	2・3 上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はじめに」 ・ 感じたことを話し合おう ・ 朝起きてから夜眠るまでの美術 ○ 「特別展示室」 ・ ゲルニカ, 明日への願い ○ 「学習を支える資料」 ・ 形・色・材料・光の特徴を知ろう ・ 美術史年表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿修羅像 上半身(部分) ○ 記憶の固執【サルヴァドール・ダリ】 ○ ゲルニカを制作中のパブロ・ピカソ 撮影【ドラ・マール】 ○ 「ゲルニカ」【パブロ・ピカソ】 ○ キッズゲルニカ(生徒作品)
	2・3 下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はじめに」 ・ 感じたことを話し合おう ・ 美術, 人と人をつなぐ力 ○ 「特別展示室」 ・ 自画像, 今を生きるあなたへ ○ 「学習を支える資料」 ・ 形・色・材料・光の特徴を知ろう ・ 絵巻物を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリスティーナの世界【アンドリュウ・ワイエス】 ○ ホテル・アカトラン 中庭の回遊【デヴィッド・ホックニー】 ○ 見つめる(生徒作品) ○ 鳥獣人物戯画 甲巻(部分)
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」 ・ 色の性質 ・ 日本の色づかい ・ いろいろな技法を用いて 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】 ○ 常磐緑(屋久杉) 撮影【野呂希一】 ○ 睡蓮・緑の反映(部分)【クロード・モネ】 ○ きらら渋谷【絹谷幸二】
	2・3 上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」 ・ 写真撮影の第一歩 ・ 時代の流れの中で変化するデザイン ・ 木工の技法 ・ 水墨画の技法 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラウド・ゲート【アニッシュ・カプーア】 ○ 四季花鳥図屏風【狩野元信】 ○ Qドラマ
	2・3 下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」 ・ 金属でつくる ・ 日本美術の展開と世界との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メリープロジェクト【水谷孝次】 ○ 明日の神話【岡本太郎】 ○ 「ゲルニカ」【パブロ・ピカソ】

視点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨言語を用いた発想・構想の工夫
方法	言語活動の示し方及び具体例

言語活動の示し方及び具体例	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動中の生徒の言葉を吹き出しで示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「どんな形が使いやすいんだろう。」「だれが使うものをつくろうかな。」「どんなときに使うんだろう。」「どんな材料を使おうかな。」(第1学年) ○ 作品紹介や、作品制作のための資料をまとめる等ワークシートを用いた事例を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・つめかえクン：液体洗剤などの詰め替えの不便さを解消する方法を考えました。(第2・3学年) ○ 鑑賞のきっかけとなる問いかけをしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・背景に描かれた浮世絵とよく似た作品を比べてみましょう。(第2・3学年)
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」の中に話し合いを促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・発想のおもしろさや工夫した点を話し合おう。(第1学年) ○ マッピング、鑑賞レポート、企画書等、ワークシートの事例を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・マッピングで発想を広げよう：自分の特徴や好きなものを整理したマッピングの図。文字やイラストを使ってあらわした。(第2・3学年上) ○ 形・色・材料・光などのことや、それらがもたらすイメージについて考えるための問いかけをしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・音のイメージをあらわすとしたら、どんな形や色がよいだろう？(第2・3学年下)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのねらい」の中に話し合いを促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・文字やマークの形や色から受ける印象について話し合ってみよう。(第1学年) ○ 図や言葉を用いて自分の考えを説明するアイディアスケッチを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・心触れ合う公園を考えよう：使用する人の気持ちに立ったり、造形的な美しさを考えたりしながら、遊具や立体を配置する。(第2・3学年上) ○ 言語活動の具体例を「POINT」に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・スケッチや作品について発表し合おう。(第2・3学年下)

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩作者の言葉の記述
方法	作者の言葉の具体例

	作家の言葉の具体例	生徒の言葉の具体例
開隆堂	<p>「トルソー」【ポテロ】</p> <p>ブロンズは彫刻の素材の中で、最も美しく、最も高貴で、芸術家の意図に敏感に反応してくれる。金属の酸化によって実現される緑青は幅広い可能性をもっている。ブロンズという素材の表面に光が戯れることによって深い影が生まれ、その中に神秘的な感覚が醸し出される。(第2・3学年上)</p>	<p>「私たちの公園デザイン」(共同制作)</p> <p>この町には家族全員で楽しく安全に過ごせる公園が少ないのです。そこで、子どもから老人まで多くの人々が憩い、楽しむ場所を考え、プレイゾーン、レストゾーン、ランニングゾーンに分けて、それぞれの目的に合った施設を配置するようにデザインしました。</p>
光村	<p>「船を見つけた日」【井上直久】</p> <p>画面にいろいろな色をまき散らし、なんとなく心引かれる形を選んで描き起こしていくと、見たことがないのに懐かしい不思議な世界ができる。「船を見つけた日」は「目の前にあるのにその深い意味が知られていないもの」について考えて描いた。「いつもの遠景の山にあるのは山から来た船だ」と気づいた「少年のある日」としてイメージをあらわした。(第2・3学年上)</p>	<p>「心のともしび」</p> <p>心の中には、いろいろな相反する気持ちが共存しています。その中で、ポジティブな自分がネガティブな自分に打ち勝つ様子を、光で照らし出す形で表現しました。(第2・3学年下)</p>
日文	<p>「和紙を使った空間演出」【堀木エリ子】</p> <p>和紙職人の姿に衝撃を受けた。底冷えのする工房で、寒気の中、肘まで真っ赤にして体から湯気をあげて黙々と紙を漉く姿は、今も私の原風景となっている。</p> <p>価格競争や時代の流れによって衰退していく和紙の世界を身近に見て、誰かが何とかしなくてはと感じ、気がつく自分自身が紙を漉いていた。(第2・3学年上)</p>	<p>「優勝への道」</p> <p>サッカーの試合で、チームがなかなか優勝までたどり着くことができないもどかしい気持ちを表しました。(第2・3学年下)</p>